

今週の

2026年9月27日



徐々に暑さがやわらぎ、生きものの観察がしやすくなりました。
今回の開放日にはチョウやガの幼虫がたくさん見つかりました。



① ナガサキアゲハの幼虫

ミカンの木の子にナガサキアゲハの幼虫がいました。日本最大級のアゲハチョウのなかまです。幼虫も大人の人差し指ほどの大きさがあります。



🔍 さわってみると……

アゲハチョウのなかまは、刺激を受けると頭のうしろからツノ(臭角^{しゅうかく})を出して強いにおいを発します。ナガサキアゲハの臭角はオレンジ色です。



② アカボシゴマダラのサナギ

エノキの葉にアカボシゴマダラのサナギがついていました。葉にそっくりな姿でまわりに上手にまぎれていました。開放日の翌日に羽化していました。



🔍 飼えないチョウ

アカボシゴマダラは日本ではもともと奄美諸島のみにすむチョウでしたが、近年関東に持ちこまれ分布が広がっています。そのため「特定外来生物」に指定され、別の場所へ運んだり、飼育したりすることはできません。

③ オオミズアオの幼虫

ワリの枝にガのなかま、オオミズアオの幼虫がいました。脱皮をくり返して大きくなります。この幼虫は脱皮をしたてのようで、抜け殻もありました。



🔍 色ちがいの幼虫?

サナギになる直前の幼虫は体がオレンジ色になります。



「いきもの広場」は、小さな生きものがくらせる環境を整えた広場です。
生きものを探す楽しさや、身近な生きもののすばらしさを感じることができます。

「いきもの広場で遊ぼう」

毎月第2・4日曜日10:45～11:45

*時間外はお入りいただけません。

